

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

浪速小	学校	児童数	86
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.08	19.60	35.74	36.42	46.69	9.29	143.38	25.08	53.64
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.83	19.20	41.21	35.79	34.12	9.45	141.45	12.78	53.92
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

本校の体力合計点の平均は、男子は全国平均以上、女子は全国平均と等しい記録となっている。しかし、シャトルランと立ち幅跳び、反復横跳びの記録は男女ともに全国平均を下回っている。そのため、持久力と瞬発力の低さが本校の課題である。

また、質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」に肯定的に回答している児童の割合は、男女合計で88%（全国平均63.9%）であり、1週間の総運動時間の割合が60分未満の児童の割合が23%（全国平均12.3%）であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

一昨年度まで本校では、持久力、敏捷性を高める取り組みとしてなわとび週間を実施していたが、昨年度の実技集計の結果20mシャトルランの記録が全国平均と比較して男子は10ポイント、女子は6ポイント下回っていた。そのため、より持久力を伸ばす活動として全校かけ足を実施することとした。はじめは自分のペースがつかめず、時間内に走り続けることができない児童が多かった。回数を重ねるごとに少しずつ自分なりのペースをつかんで走ることができるようになってきた。今年度の20mシャトルランの結果も全国平均を下回っているため、今後も全校かけ足を実施するなど児童の持久力向上のための取り組みを続けていく。

また、児童の運動に対する興味関心を高めるために、委員会活動を活性化するなどして、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合を減らせるようにする。